



2006 年秋号



ハワイ本派本願寺
仏教婦人会連盟
Hawaii Federation of
Buddhist Women's



第十三回世界仏教婦人会大会

ホノルル・ハワイにて開催

京都の本山から大谷範子総裁様と山田智之総務をお迎えし二〇〇六年九月一日から三日間に亘って盛大に開催されました第十三回世界仏教婦人会大会は大成功に終わりました。

大谷範子総裁様の開会のご挨拶から始まった大会はハワイらしい美しく楽しい大会であったと多くの参加者からお褒めの言葉を頂きました。

大会場に設置されたステージは京都の仏具屋に特別に注文した大型のお名号、モイリリ本願寺婦人会の皆様が作られたハワイアンキルトの打敷、そして各島から集められた花々で美しくお荘厳がなされました。

日本、カナダ、ブラジル、北米、ハワイから約四千人の婦人会々員がハワイカンベンションセンターに集まり「十二礼」と「讚佛偈」を唱和しました時には参加者の声が必要な大会会場に鳴り響き、今更ながらお念仏の力強さを感じさせられました。

ケン田中先生の基調講演と各国からのパネリスト達のお話には出席者一同大変感動致しました。パシ



閉会式でお言葉を述べられる(左) 開会式でお焼香をされる(上)大谷範子総裁様

フィックブデリストアカデミーの当山校長と生徒達による学校の説明、又、ハワイの文化の紹介という目的でのワークショップでは、九つのクラスで、ハワイの歌、音楽、植物、果物、フラダンス、念珠の作り方などが紹介され充実したプログラムでした。第十三回世界仏教婦人会大会共同委員長の清川房枝、東ドナ、連盟会長の山本キャロル、連盟主事の牧野先生、有難うございました。又、見えないところで働いて下さった各委員会の方々、本当に有難うございました。

この世界大会が無事にそして大成功に終ることができましたのも婦人会々員の皆様がお心を一つにして、大会のため頑張ってお礼を申し上げます。

(与世盛夫人ご寄稿ありがとうございました。)

大会のひとコマ



大会旗が、Hawaii 山本会長より次回開催国に渡されました。(上) 2011年にお会いしましょう。



基調講演をされる田中ケネス教授 (上) PBAの発表をされる当山校長(中央)与世盛千穂子連盟名誉会長(左)

